

図の訂正に関して

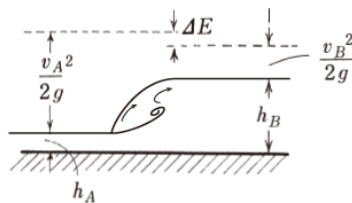
跳水現象は、NS 方程式からは解析解が得られず、戦時中（昭和 10 年代の後半）に、谷一郎先生や九大応力研の栗原道徳先生が剥離現象として取り組んだが失敗したと聞いております。戦後航空研究が禁止された時期に一時土木工学科に在籍した谷先生は、一高で同級であった本間先生からもう何十年も前に hydraulics で解析解が得られていると知り、ガッカリしたと話していました。谷先生の「流れ学」に開水路の章が設けられているのは hydraulics の方法の重要性を認識したためです。

しかし、ローラー部分の構造は長く分からず、本書の一部の図は理論的推定からすでに訂正済みですが、渦部分はそんなに大きくないだろうと思っていました。この点は長らく気になっていましたが、この度信頼度の高い数値シミュレーション論文が出ましたので、それに従い幾つかの図を訂正いたしました。（日野）

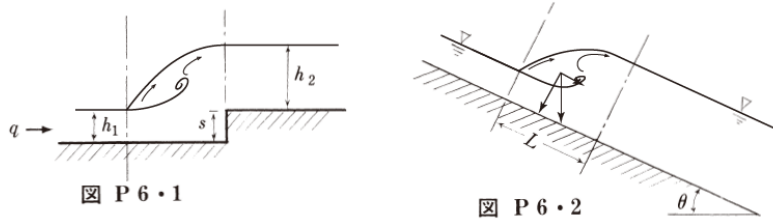
* * *

令和 3 年 2 月 10 日発行第 33 刷までの跳水区間の流れに関する図について、下記のとおり訂正いたします。令和 4 年 6 月 20 日発行第 34 刷では訂正されています。

p.129, 図 6・15 右図



p.135, 図 P6・1, 図 P6・2



p.135, 図 P6・4

